

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	知能システム特論		
英文授業科目名	Topics on Intelligent Systems		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	内海 彰		
居室	西5-703		

公開E-Mail	授業関連Webページ
utsumi@se.uec.ac.jp	<a href="http://www.utm.se.uec.ac.jp/~utsumi/lecture/intsys/">http://www.utm.se.uec.ac.jp/~utsumi/lecture/intsys/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
人間の知は世の中に存在する最も複雑でかつ魅力的な知能システムであるとの認識に立ち、その性質や機能、および成り立ちなどに関するさまざまな分野の研究について横断的に講義することによって、人間知に関する科学である認知科学や人工知能への理解を深めることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし。

<b>【教科書等】</b>
特になし。必要に応じて資料を配布する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
人間の知に関わる最も本質的なシステムである言語に関する話題を中心に、以下に示す主要な話題に沿って講義する。
1. 知能に関する諸科学の基礎
2. チューリングマシンとチューリングテスト
3. 人工知能における問題解決と探索

4. 知識表現と推論

5. 機械学習：コネクショニズムと遺伝的アルゴリズム

6. 自然言語処理：統語処理・意味処理・談話処理

7. 語用論と言語的知能

8. 社会的知能と言語の起源

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：

学期末試験の結果から評価する。

(b)評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・認知科学や人工知能に関して講義で取り上げた内容をおおよそ理解している。

さらに、授業で取り上げた内容を用いて新たな問題設定をしたり、独自の妥当な見解を持つにいたる場合には、「優」以上の評価とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、できる限り電子メールで事前に連絡すること。

【学生へのメッセージ】

人間の知やことばはだれしも身近な存在である。前提とする知識は必要ないので、人間の知やことばに興味を持つ学生の受講を歓迎する。この講義を通じて人間の知に関する研究の学際性、面白さや難しさを実感してもらいたい。

【その他】